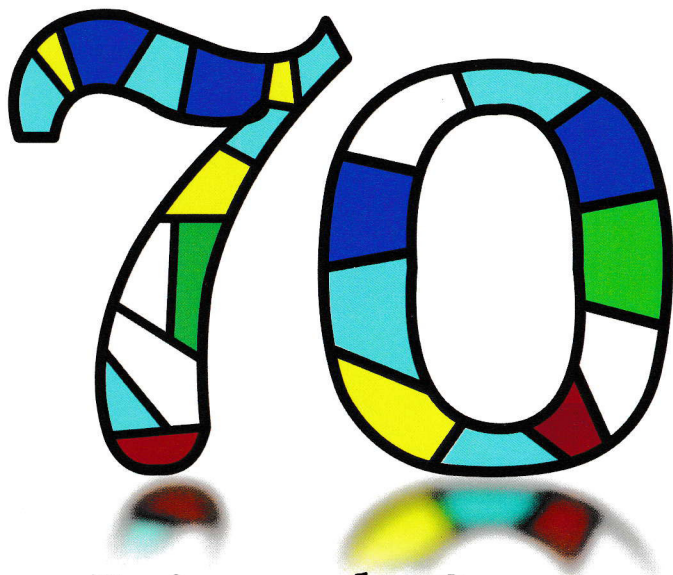


靈南坂スカウト 70周年記念礼拝式典



Reinanzaka Scout

1947~2017

2017年4月29日午後2時

靈南坂教会礼拝堂

ボーイスカウト東京港第1団

ガールスカウト東京都第4団

4 聖詩念誦半圓の下のやの天遊南靈
やさしい日が

【田村】

千鶴奈 共今 奏奏

美穂 山崎 全団

FAKUSAH 198
第1-190第2-1900-

1 やさしい日 が 曇らぬ日 が
2 おおきな手 が 10月1日の手 が 津美路
3 かぎりのな い ひろいこころ が

信じる心

神様を信じる心

仲間を信じる心

自分を信じる心

靈南坂スカウト70周年記念礼拝

奏楽 今井 奈緒子

司会 小山 睦美

前奏

讃美歌 470 やさしい目が

聖書 フィリピの信徒への手紙 1章7～11節

お祈り

お話 「共に恵みにあずかるために」 後宮 敬爾 牧師

讃美歌 第二編 189 丘の上の教会へ

献金

献金のお祈り

主の祈り

頌栄 24 たたえよ、主の民

祝祷

後奏

詞：深沢秋子、1931-

YASASHII ME
曲：小山章三、1930-

1 やさしい目が、 きよらかな目が、
2 おおきな手が、 あたたかい手が、
3 かぎりのない ひろいところが、

きょうも わたしを みていてくださる。
きょうも わたしを ささえてくださる。
きょうも わたしを まもってくださいる。

「まっすぐに あるきなさい」と みていてくださる。
「はなれずに あるきなさい」と ささえてくださる。
「やすらかに あるきなさい」と まもってくださいる。

せいしょ
聖書

しんと てがみ しょう せつ
フィリピの信徒への手紙 1章 7～11節

わたしがあなたがた一同^{いちどう}についてこのように考えるのは、当然^{とうぜん}です。というのは、監禁^{かんきん}されているときも、福音^{ふくいん}を弁明^{べんめい}し立証^{りっしょう}するときも、あなたがた一同^{いちどう}のことを、共に恵み^{ともめぐ}にあずかる者^{もの}と思^{おも}って、
心^{こころ}に留^とめているからです。わたしが、キリスト・イエスの愛^{あい}の心^{こころ}で、あなたがた一同^{いちどう}のことをどれほど思^{おも}っているかは、神^{かみ}が証^{あか}しして
くださいます。わたしは、こう祈^{いの}ります。知る力^しと見抜^{ちから}く力^{みぬ}とを身^み
に着^つけて、あなたがたの愛^{あい}がますます豊^{ゆた}かになり、本^{ほん}当^{とう}に重^{じゅう}要^{よう}なこ
とを見分^{みわ}けられるように。そして、キリストの日^ひに備^{そな}えて、清^{きよ}い者^{もの}、
とがめられるところのない者^{もの}となり、イエス・キリストによって与^{あた}え
られる義^ぎの実^みをあふれるほどに受^うけて、神^{かみ}の栄光^{えいこう}と誉^{ほま}れとをたたえる
ことができるように。

LITTLE BROWN CHURCH
 曲: William S. Pitts, 1830-
 (編曲) 編集委員会, 1967

調: 阪田寛夫, 1967

♩ = 112 おかのうえのきょうかいへのぼる石だたみはる
 (おりかえし)
 はさくらははなびらてのひらにうけてのぼるほら
 さやかにやさしくベルはなりわた
 デイン ドン デイン ドン デイン ドン デイン ドン デイン ドン
 デイン ドン ああ なつかしいきょうかいへきょうこそみんなでかえろ

詩篇 84

1

丘の上の^{きょうかい}教会へ のぼる石だたみ、
 春は桜のはなびら、
 手のひらにうけてのぼる。

(おりかえし)

(ほら、デイン ドン、デイン ドン・・・)
 さやかにやさしく
 ベルは鳴りわたる。
 ああ、なつかしい^{きょうかい}教会へ
 きょうこそみんなで帰ろう。

2

夏はみどりさわやか 陰も涼しくて、
 高く口笛吹いては、
 肩組み合わせてのぼる。

3

丘の上を望めば 空に羊ぐも、
 秋の陽をあびてひかる、
 煉瓦の塔の十字架。

4

雪の降る夜みんなで 歌声あわせた、
 小さいときの思い出が、
 いまこころに鳴りひびく。

主しゅの祈いのり

てん 天にましますわれわれの父ちちよ、

ねがわくはみ名なをあげさせたまえ。

くに きた みに国くにを来きたらせたまえ。

てん みこころの天てんになるごとく

ち 地ちにもなさせたまえ。

われ にちよう かね きょう あた 我われらの日にちよう用の糧かねを、今日きょうも与あたえたまえ。

われ つみ もの われ 我われらに罪つみをおかす者ものを 我われらがゆるすごとく、

われ つみ 我われらの罪つみをもゆるしたまえ。

われ 我われらをこころみにあわせず、

あく すく いた 悪あくより救すくい出いたしたまえ。

くに さか 国くにとちからと榮さかえとは

かぎ 限かぎりなくなんじのものなればなり。

アーメン。

礼拝 頌栄
たたえよ、主の民

[I 539]

Praise God, from whom all blessings flow
詞：Thomas Ken, 1637-1711

OLD100TH
曲：ジュネーブ詩編歌、16世紀

た た え よ、主 の た み、み つ か い と と も に、

め ぐ み に あ ふ れ る ち ち ・ 子 ・ せ い れ い を。

(♩=66)

た た え よ、主^{しゅ}の^{たみ}民、み つ か い と 共^{とも}に、
恵^{めぐ}みにあふれる 父^{ちち}・子^こ・聖^{せい}霊^{れい}を。

詩117 II コリ13:13

ア - メ ン。

靈南坂スカウト70周年記念式典

司会 小崎 信

オルガン演奏

今井 奈緒子

開会の言葉

旗の入場

ボーイスカウト 世界スカウト旗・隊旗

ガールスカウト 世界連盟旗・団旗

靈南坂スカウトクラブ旗

やくそく・ちかい・「そなえよつねに」

ボーイスカウト一同

やくそく

・「やくそくのうた」

ガールスカウト一同

挨拶

ボーイスカウト東京港第1団

名誉団委員長

杉原 正

靈南坂スカウトによるソング

来賓祝辞

ボーイスカウト日本連盟歌 「花はかおるよ」

来賓・友好団紹介

祝電紹介

ガールスカウト世界連盟歌 「すすむ道は」

歴代靈南坂スカウト紹介

団委員長

内藤正樹

古谷久代

召天者のための祈り

井上

創 牧師

靈南坂スカウト団歌

旗の退場

閉会の言葉

そなえよつねに

堀内敬三 作詞
Giordano 作曲

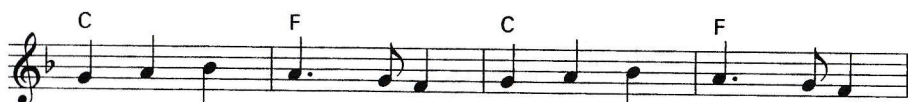
Moderato



1. み つ の ち か ら い め い よ
2. つ よ き か ら だ か た き



か け て ボ - イ スカウト
こ こ ろ ボ - イ スカウト



お き て ま も り ひ と の た め に
き ず た て て こ の よ の た め



そ な え - よ つ - ね に
そ な え - よ つ - ね に

1. 三つのちかい 名誉かけて ボーイスカウト

おきて守り 人のために そなえよつねに

2. 強き体 かたき心 ボーイスカウト

築きたてて この世のため そなえよつねに



し き に む す ば る る ゆ う じょう は つ よ
 の た め ま ご こ ろ を そ な え よ つ ね
 must u - nite for what is right in friend - ship true and
 were the free! And we must be Pre - pared like them to
 voix u - nies par de - là les mers S'é - lè - vent de tou - te la
 de nos mains pour le monde en - tier La chaî - ne de notre a - mi -



し - り そ う の よ を い ま そ わ れ ら う
 に - へ い わ と じ ゆ う の た め わ れ ら さ
 strong, Un - til the earth in its re - birth Shall
 live, To give to all, Both great and small All
 ter - re. Dans l'a - mour et la joie Nous sui - vons no - tre loi Pour
 tié. Dans l'a - mour et la joie Nous sui - vons no - tre loi Pour



ち た てん う ち た てん
 さ げ ん さ さ げ ん
 sing our song! Shall sing our song!
 we can give! All we can give!
 é - tre prêtes. Pour é - tre prêtes.
 é - tre prêtes. Pour é - tre prêtes.

1. 進む道は かがやき

高き旗はくまなくひるがえり
 希望は永遠に
 正しきにむすばるる
 友情は強し
 理想の世を今ぞ
 われらうちたてんうちたてん

2. 善と真愛し

おきてを守り
 やさしき行為
 名誉にかけて
 ひとのためまごころを
 そなえよつねに
 平和と自由のため
 われらささげんささげん

靈南坂スカウト団歌

靈南坂スカウト 志水 功 作詞
作曲

G

1. か みら とく に と に ま こ とを つみ
2. か みら だを き た え ま こ こ とを

G G7 C G

く し お き て を まし も り ひ と
が し き お き て を や まし も り ひ と
ね

C D G C

を た す け る ぼ く た ち スカウトの
に そ な え る ぼ く た ち スカウトの

G A7 D7

ち い さ な ら あ い の わ ざ が こ の
ひ ー ご ら は い げ む わ ざ が こ の

G C D7

よ に へ い わ を も た ら す の
 よ に ひ か り を か た か げ る の

G (おりがえし) D7

だ だ ね き し か が や く れ い

Em C B7 C D7

な ん ぞ か に そ び え た つ

G D7 G

し ょ う ろ う あ お い で す す も う

靈南坂スカウト団歌

神と国とに 誠を尽くし
おきてを守り 人を助ける
ぼくたちスカウトの小さな愛のわがが
この世に平和を もたらすのだ
歴史輝く 靈南坂に
そびえ立つ鐘楼 仰いで進もう

体をきたえ 心をみがき
徳をやしない つねにそなえる
ぼくたちスカウトの日ごろ 励むわがが
この世に光を かかげるのだ
歴史輝く 靈南坂に
そびえ立つ鐘楼 仰いで進もう

* 靈南坂スカウト10周年の際に

靈南坂スカウトの志水 功さんが作詞・作曲されました。



Reinanzaka Scout
1947~2017